

## 喬成会在宅事業部

症 例 概 要 S様 80代 男性 要支援2

アルコール性肝障害のため自宅で倒れて動けなくなり、3日間誰にも気づいてもらえなかった。その後、S病院を経て平成26年4月 アルコールを断つ目的で花びりかに入居したご利用者。花びりかの中での役割づくりから、花びりかだけでなく、ナースインやデイサービスでのボランティア活動も積極的に行っていただけるようになり、また、月間デイへの作品エントリーを目的に作品づくりを促し努力賞に入賞。日常生活にハリと楽しみを感じて頂いている症例。

### 内 容

---

S様は入所当時から外出活動などで外に出るときは、他のご利用者のフォローをするなど、お世話好きな方で、新規の入居者が来られた時も積極的に話かけていました。入居の時はギターを持ってこられ、時々居室で弾かれていましたが、皆の前で演奏して欲しいという願いには、頑なに拒まれていらっしゃいました。

現在はリハビリ目的で週に1回のデイサービスを利用。いつも積極的に自主訓練をされています。ある時、デイサービスでS様が自己紹介をされる機会があった時、「花びりかに入居して1年過ぎましたが、とても安心して楽しく生活できています。昔、部屋で倒れて病院に運ばれました。今、私はリハビリをし続けないと死んでしまう体なんです。」と話されていました。

契約時にS様が話されていた。「部屋で倒れて3日間気づいてもらえなかった。本当に怖いと思った。このことがあってから酒も止めた。」と話していて、本当に一人でいる怖さがある感じがあることを在宅部門の職員は把握していました。デイサービスで楽しんでいる囲碁で、もっと役割と楽しみを持ってもらおうと、ナースインでの囲碁ボランティアを提案したところ、「よし、いいよ」との回答。1週間に一度のボランティアを楽しんでいます。また、その後はデイサービスや花びりかで今まで拒まれていたギターの腕前を披露してくれるなど、ボランティア活動も率先して行ってくれています。更には月間デイへの作品エントリーを目的に作品を作り、努力賞に入賞。

重度のアルコール依存性で倒れて恐怖を感じ、お酒を断つ目的で花びりかに入居。花びりかでは居室でギターの練習をされていたり、外出時に他のご利用者のフォローをしていること。デイサービスでは、リハビリに専念しながらも囲碁を楽しんで過ごされていることを在宅部門全体で情報共有。ナースインの新規ご利用者が囲碁が好きである情報が直ぐに伝わりS様にボランティアを依頼することで、生活の中での役割と楽しみができ、生活自体にハリがでたと感じています。今は重度のアルコール依存から完全に立ち直り、お願いされたボランティアには全て参加していただいています。上記のことからキラキラ介護賞に推薦いたします。